

## 指導者紹介



ヘッドコーチ

齋藤 郁磨

Bars LyLe 総責任者

YeLLプロジェクトマネージャー

金武THREE ARROWSコーチ

身体づくり講師

パーソナルトレーナー

## 【プロフィール】

職業としての運動全般の指導をする傍ら、ボランティアでミニバスのコーチを務め、趣味指導、職業指導の生活を15年続けた後引退

バス界へ恩返しのため“YeLL”を立ち上げ、100件以上の大会運営のサポートと、バスケットを頑張る子どもたちに3年間で600個以上のメダルを寄贈



地元のチーム、金武THREE ARROWSからのオファーにより2019年に指導者として復帰  
→現在に至る

自チームの保護者や選抜チームの保護者からオファーをいただき、2021年7月Bars LyLe開講（予定）

# ご挨拶

この度、多くの方々にご尽力いただきU15バスケットボールクラブチーム「Bars LyLe」を開講する運びとなりました。

多くのクラブチームが次々と立ち上がる中、万人ウケするよりも何かに特化したものを作るため、何がしたいのか、どのようなチームにするのかを明確にすることから始めました。

チーム立ち上げを希望していただいた保護者の方々が私に期待することのヒアリングを行い、過去の卒部生やその保護者にも意見や感想を聞き、私の思っている指導と受講する側の感じている指導を一致させた上でプログラムの設計に取りかかりました。

チームを強くすること、選手のスキルを上げること、これができる指導者は多くいる中で、そこよりさらに根っこの部分、バスケの前に教育として、プレーヤーである前に人としてということにこだわり、そこに私の職業である身体づくりの講師、トレーナーとしての知識を練り込み、経験と強みを生かした渾身のプログラムです。

指導にはその子の人生を変える力があります。

指導者にもそれを担う責任があり、私自身もプロの指導者としてその責任と向き合っていくつもりでいます。

そして参加する方々にも本気で取り組む覚悟のある選手、そして指導の価値がわかる保護者と一緒に歩んでいくことを望んでいます。

最後に、ここに至るまでにこの舞台を用意していただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

バスケをさせただけではなく、あなたにお願いしたいと望まれたことは指導者として幸せなことであると痛感しております。

人に必要とされているということの喜びを感じるとともに、その期待に見合うものを提供するために全力で子どもたちと活動に取り組み、期待を上回るチームづくりをしていきます。

Bars LyLe 総責任者 斎藤 郁磨